

交通マイクロシミュレーションによる 「東京計画1960」構想の復元

芝浦工業大学 工学部土木工学科
交通計画研究室

H04213 日向 亮子

1. 本研究の背景

1961年「東京計画1960」構想の発表
構想発表から50周年を迎えようとしている



丹下健三研究室の流れを汲む研究者達
(芝浦工業大学建築系教員, 東京大学都市工学教員)
による検証研究

“計画の今日的検証”

2. 本研究の目的

“計画の今日的検証”

- 建築デザイン ●都市計画 ●地域経済
- 都市デザイン ●交通計画 ●建築史

「東京計画1960」で提案された交通システムの検証



交通マイクロシミュレーションを用いた
交通システムの構築

3. 「東京計画1960」とは

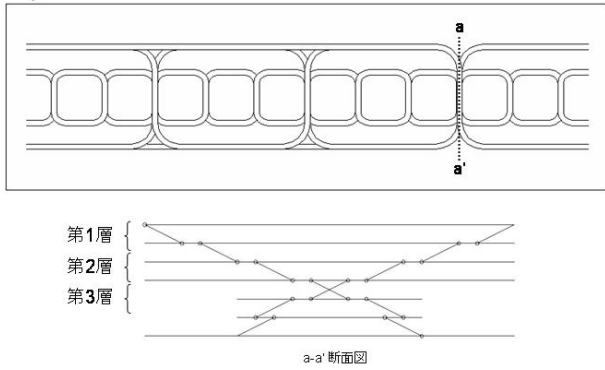
「東京計画1960」の背景・目的

高度経済成長による都心への流入人口の増加
放射型道路整備を優先する計画

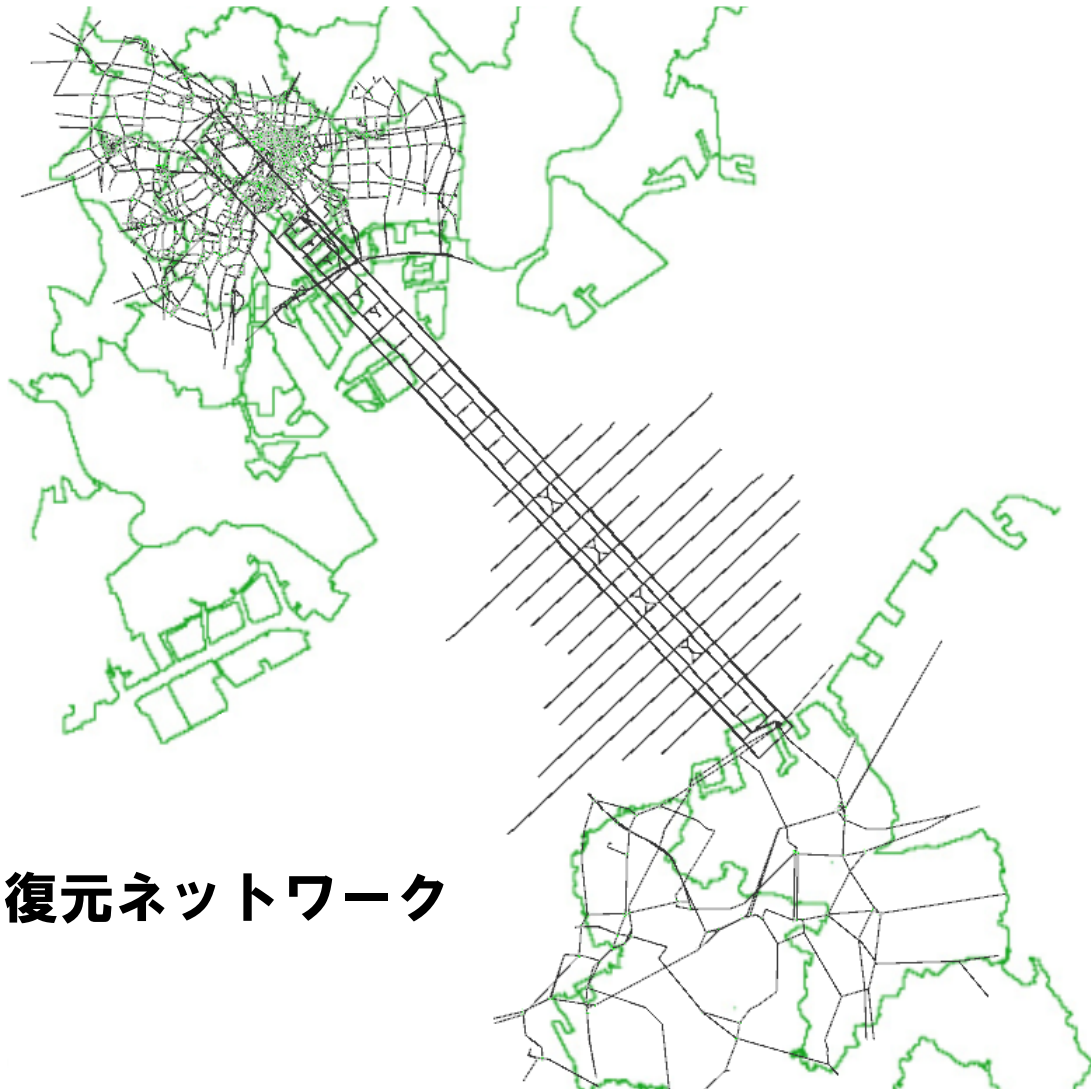
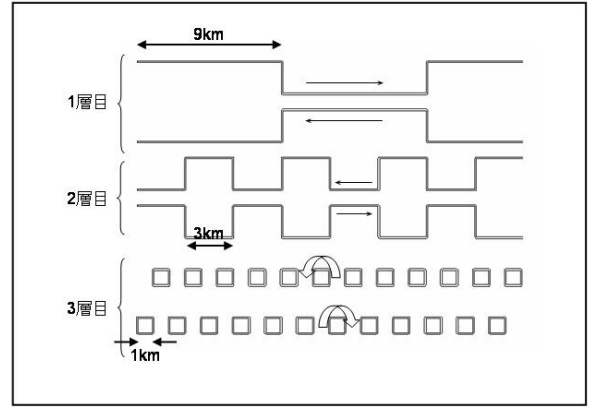


交通システムを放射状から線型へ改革
都市・交通・建築の有機的統一
都市の空間体系の探求

4. サイクル・トランスポーターションシステム



4. サイクル・トランスポーターションシステム



復元ネットワーク

5. ネットワーク作成範囲

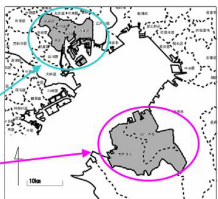
1. サイクル・トランスポーターション・システム

2. 既存道路

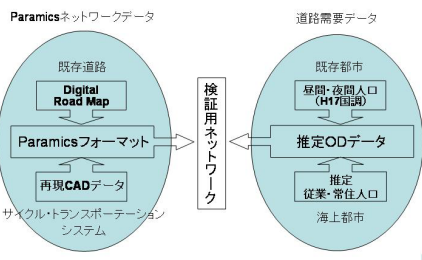
- 都心5区
- 木更津市, 袖ヶ浦市

中央区・千代田区・港区
新宿区・江東区

木更津市・袖ヶ浦市



6. ネットワーク作成手順



8. まとめ

「東京計画1960」ネットワークの作成
推定ODデータでの交通量の分析

< 今後の課題 >

- 都心部の人口構成の検討
- 信号機設置の検討
- 既存道路との接続部の検討

- ネットワークの拡大, 修正